

英語の基本を確認しながら K/H 学習法の基礎をじっくり学ぶ

- 実戦的英語力の基本の基本▶ 実戦力に必須の文法のエッセンスが分かる
- 英語の OS の構築▶ 日本語と異なる <英語の特徴> が分かる
- 自己継続学習▶ 継続的に自己学習する方法が分かる

■ 概要

TOEIC 500~700 点前後の方のニーズに最も合った内容で、**実戦的英語力に不可欠な基盤をつくる K/H システム英語学習法の基本エッセンスを、じっくり習得するコース** です。「とにかく英語に触れる」や「とにかく語彙を増やす」を超えて、英語の構造の違いゆえの「日本人の私たちにとっての難しさのポイント」を理解して、そこを克服する視点や手法を戦略的に使う学習法を実践的に学びます。コース終了後も、仕事で成果を出せるレベルまで英語力を高めるために、継続的に自己学習できるようになります。

■ 対象

TOEIC 目安：500~700 点前後 (700 点以上の方で、特に構文や文法に自信のない方)。英語の実戦的な学習はこれからという方、英語をもう一度やり直そうと思立った方、安心して英語の学習のスタートを切ることができます。TOEIC 700 点以上の方も、文法や構文が苦手な方はこちらからの受講をお勧めします。

“とにかく聞く・単語を覚える…という、今のやり方以外に、実践的練習法があるなら知りたい”
 “英語は仕事で使ってはいるものの、自分の英語力が見劣りして、今のままでとまづいと感じている”
 “英語力の土台の何かが欠けている気がする。もう一度、基礎からきちんとレビューしたい”
 “英語の勉強から離れてしまって、何から手をつけていいかわからない”
 “英語力強化コアコースに参加する前に、このコースでステップアップしておきたい”

教材 「仕事ダイアログ・プレゼンテーション教材」(音源付) / 「リズム・発音練習教材」(音源付)

日米の企業研修のニーズをもとに、英語圏のビジネスの現場で頻出する決まった言い回しや、パターン表現が入った汎用性の高い教材。同時に、コミュニケーションの効果を高めるのに必須の ①英語圏の典型的な話の流れ(ロジック)と、②丁寧表現(英語圏の社会人として適切な表現)も学べます。付属音源は、ポーズ入り、シャドーイング用スピード、ナチュラルスピードの3種類があり、学習の段階に応じて使い分けられます。「発音練習教材」は、日本人が聞き取りで特に苦手とするリズム、リエゾンパターンを抽出したもので、ビジネスで頻出する表現・例文で練習ができます。

AGENDA

UNIT 1 「文頭から正確に意味をつかむ方法」の理解と実践練習

- ・実戦的英語力に必須の「文法、構文のエッセンス」の整理と確認
- ・英語の「文のつくり」の特徴の理解
- ・「文頭から聞き取る感覚」を自分の中に作り込む実践練習

UNIT 2 「音とリズムの感覚」と「意味をつかむ力」の強化

- ・「英語の音とリズムの特徴」の理解
- ・「英語の音とリズムの特徴」を身に付けるための実践練習(音読/リテンション/シャドーイング)
- ・リアルタイムで(後戻りせずに)、文頭から英語を理解する方法の実践練習(英語の文のつくり即した「文頭からの聞き取り」練習/英単語の「コアの意味のつかみ方」など)
- ・英語のニュアンスをつかさどる要素の理解(時制・冠詞・単複数・助動詞など)

UNIT 3 「音を聞いて瞬時に意味をつかむ力の強化」と継続学習のアドバイス

- ・「英語を英語で理解する感覚」を作り込むための実践練習(イメージで英語をとらえる方法/やまと言葉落とし/同時通訳'風'意味落とし練習→シャドーイング)
- ・正確な理解に不可欠な「構文に対する意識の強化」と複雑な構文の処理の仕方
- ・正確な理解のベースに必要な英語ビジネス文化と価値観の知識
- ・自己学習のやり方と継続学習の成功のポイント